



いつでも・どこでも・だれでもできる国際理解教育を目指して

地球市民

オホーツク国際理解教育研究会

2014/06/27 No.1

26年度 第1回役員会開催

国際理解教育のすすめ

オホーツク国際理解教育研究会会長 美幌町立旭小学校長 光成 英二



北海道国際理解教育研究協議会の基本方針は「21世紀を生きる北海道の子ども達に、国際社会に貢献できる日本人としての資質を育成する、国際理解教育の在り方を探る」となっています。またオホーツク管内でも、毎年研究大会や学習会を行い、子ども達への国際理解の浸透を目指して活動を進めています。

最近ではロシアのソチで冬のオリンピックが開催されたり、サッカーのワールドカップブラジル大会が近づいたり、情報が時差を超えて地球規模で飛び交っています。日本人が国際的に活躍するニュースもよく耳にします。ところが、ウクライナの問題を始めとして、各地での民族や宗教や領土が絡んだ紛争は未だに続いています。アフガニスタンでの地滑りでは多くの人々が生き埋

めになりました。このように世界は決して平温な毎日ではなく、いつ何が起きるか分からないのが現状ではないでしょうか。

そこで日本のこのオホーツクの地にいる私たちが今、何が出来るのかという、正しい情報のもとで視野を広く持ち、異なる文化や人々を理解し協調しながら互いに生きていくための資質を身につけ、地球規模で物事を考えることができるような子ども達を育てていく事ではないでしょうか。そのためにも本研究会では①海外の日本人学校への派遣を目指し、帰国後も管内の国際理解教育に関わろうとする先生を応援しています。②国際理解教育に興味を持ち、授業を通じて世界に目を向ける事の出来る子ども達を育てようとする先生を応援しています。

本研究会に興味を持ち、多くの先生方が会員になられることを願っています。

今年度の活動について

平成26年4月19日(土)北見市立中央小学校において第1回目の役員会が開催され、今後の活動方針・内容が確認されました。今年度は、例年春に行っていた海外教育事情研修会・在外教員派遣教育研修会を8月に実施することが確認されました。



↑ 第1回役員会の様子

研修センター講座「国際理解」

平成26年7月3日(木)上常呂小有路直人先生、雄武共栄小田川満男先生を講師に開催します。たくさんの参加をお待ちしております。

役員一覧

今年度の役員は以下になりました。1年間よろしくお願ひします

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	光成 英二	美幌町立旭小学校 校長
副 会 長	藤田 俊一	丸瀬布町立丸瀬布小学校 校長
副 会 長	濱田 政三	網走市立潮見小学校 校長
副 会 長	石田 篤司	北見市立大正小学校 校長
監 事	西村 榮基	斜里町立斜里中学校 校長
監 事	櫻田 弘道	北見市立若松小学校 校長
監 事	菅原 敏明	雄武町立幌内小学校 校長
監 事	大石 剛	置戸町立置戸小学校 校長
研 究 部 長	吉本 隆	網走市立東小学校 教頭
組 織 部 長	畠山 稔	北見市立上常呂中学校 教頭
情 報 部 長	齊藤 修	湧別町立湖陵中学校 教頭
事 務 局 長	河原 賢	北見市立中央小学校 教頭
事 務 局 次 長	橋本 正之	北見市立瑞穂小中学校 教頭
事 務 局 次 長	佐藤 文昭	北見市立東小学校 教頭
事 務 局 次 長	小野寺 哲浩	北見市立相内中学校 教頭
事 務 局 次 長	天野 昌明	北見市立南小学校 教頭

<ご連絡>①会費の納入について

毎度このあたりには「会費納入のお願い」が来るのですが、今年もお願いします。今回、振り込み用紙を同封しました。

振込手数料については、各自がご負担ください。また、直接会計担当天野昌明先生（北見南小教頭）まで届けていただいても構いません。

<ご連絡>②メールアドレスについて

通信費を少しでも節約するために、メールでの文書・通信の配布を考えています。同封のプリントをご一読の上、賛同いただける方は、組織部畠山稔教頭先生（上常呂中学校）まで。

在外派遣中の先生から

今年度は、毎号海外でご活躍中の先生方から情報をいただきます。

都1都

サンフランシスコ日本語補習校 長崎祐紀 先生

↓保護者を前に、講義をすることもあります。

はじめに

多くの海外派遣の先生方は、日本人学校に派遣となりますが、少ない確率で、補習校に派遣される可能性もあります。私の時、400名を超える派遣者の中で一般教員では、アメリカ5人とカナダの1人が補習校でした。翌年の網走管内からの派遣者もロサンゼルス補習校となりましたので、今後もそのようなことがあるかもしれません。それでは、補習校の生活を簡単にご説明します。



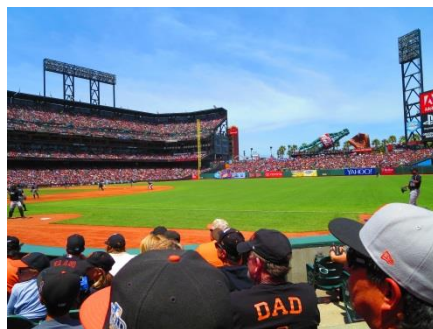
↑補習校も日本の学校と同じような行事を行います。練習時間はとても少ないけど、運動会もするよ。

補習校では・・・

補習校は土曜日だけの学校で、通常子どもたちは現地校に通います。「週1日の学校は先生は楽でいいね、他の日は何をしているの?」と言われるが、毎日やることはたくさんあります。普段はオフィスに通い、講師の指導案を見て指導、主幹との連絡調整、派遣者での打ち合わせなど多岐に渡るからです。幼児児童生徒数1500名を超え、世界第1位の規模の補習校となったサンフランシスコでは、児童・生徒に関わる相談等でもずいぶん数になります。プリントを印刷したり、講師との連絡をとったりしながら、土曜日に向けて準備を



していきます。教頭職の私は年に6回の模範授業を行います（模範という言葉が強いプレッシャーを私に与えるのです・・・汗）。今年はフレズノや、コロラド、デンバーなど他州にも巡回指導に出向き、現地の先生方の指導も行います。日本ではそういった仕事をしてきたわけではないので、いつも緊張の連続で、これでいいのか自問自答しながらの仕事です。土曜日は学校に行き、教材等を運搬（借用校のため）、授業を参観して先生方にアドバイス等を行います。教頭としてPTAや理事会の方と会議をもったり、全校朝会で子どもたちに話をしたりすることもあります。



最後に・・・

今まで見えなかったことが見えてきて、よい経験になっています。派遣されてもう2年が経ちましたが、ダウンタウンのビル街をコーヒーを持って歩いている時とか、何だか今でも自分がアメリカで生活していることに現実味がわからない時があります。話したいことはたくさんありますが、紙面の都合上これにて。補習校の楽しさやアメリカの素晴らしさなどの補足はL Aの相馬先生がしてくれるかな？



↑ヨセミテ国立公園にて

←AT&T パークでのジャイアンツ戦です。たまに観戦に出かけます。